

平成 27 年 9 月 22 日

皆さん、お疲れ様です。

10 月の研修会についてご案内させていただきます。

当初、事業計画では「先行して地域包括ケアに取り組む市町村関係者を招いて」という企画で調整してきましたが東海中央病院、各務原歯科医師会、歯科医師会薬剤師会との共催という形で滋賀県東近江で「三方よし研究会」小串輝夫先生を招いて活動事例について学んでいきたいと思えます。

患者さん本位の視点に立った医療・保健・福祉・介護の切れ目のないサービスの提供体制を構築するため、関係機関の機能分担と連携のあり方を検討しています。「患者よし・機関よし・地域よし」の三方よしを目指して、平成 19 年度から、毎月 1 回、圏域内の病院・診療所・介護施設・公共機関などの関係者が一堂に集まり「顔の見える関係づくり」を行っています。

圏域内の脳卒中の連携事例や連携パスの共通様式の検討、その時々に応じた医療、介護に関することをテーマにしています。毎回、100 名近い方々が参加されています。

各務原市でも「顔の見える関係づくり」は、これまでの皆様の努力により「できている」と個人的には感じています。より一層、今後の地域包括ケア構築のためにもより良い学びの場としたいです。参加用紙に質問コーナーを作らせて頂きました。お忙しいとは、思いますが是非、小串先生に聞いてみたいことなどを記載して頂けたら、研修会も盛り上がると思えますのでよろしくお願ひします。

また、開催日が 10 月 31 日（土） 15：50～17：30 という日程となっておりますが数多くの方に参加して頂きますよう、よろしくお願ひします。

居宅部会：原田より。